

## 観光社会資本の事例

テーマ	海との触れあい
【施設の状況写真】	
	
大洗公園線と絶景が望める駐車場	浜辺へのアプローチ
【施設の利用写真】	
	
海へ向かうサーファー	海を望む歩道と駐車場の利用状況
【観光資源としての利用状況】	
<p>見晴らしの良い場所に道路に近接して駐車場を設置しているため、休日平日問わず賑わっている。また、トイレ及び海岸に沿って遊歩道、ベンチが整備されているため、休息のついでに散歩する姿も見受けられる。親水性護岸のため海へのアプローチが良くサーファーにとっては、絶好の駐車場となっている。</p>	

テーマ	海との触れあい
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 大洗公園線</p> <p>所在地 茨城県東茨城郡大洗町</p> <p>事業名 県単道路改良事業</p> <p>事業主体 茨城県</p> <p>事業期間 平成11年度～平成15年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>観光効果</p> <p>県道大洗公園線は、太平洋を望み、大洗海岸と並行して走るシーサイド道路であり、沿道には平成14年にリニューアルオープンし、年間100万人が訪れる「アクアワールド大洗(水族館)」や夏には栃木県など遠方からも訪れ賑わう大洗海水浴場がある。さらに、本地域には太平洋を一望できるマリントワー(高さ60m)や著名なゴルフ場があるなど関東でも有数の海洋性リゾート拠点として県内外から多くの観光客が訪れ賑わいを見せており、本路線は地元観光の振興に大きな役割りを担っている。</p>	
<p>【位置図】</p>  <p>○ 紹介位置</p>	
<p>【関連ホームページ】 大洗町役場 <a href="http://www.town.oarai.ibaraki.jp/">http://www.town.oarai.ibaraki.jp/</a></p>	